

- 6 三沢川地区の浸水対策の完成を急ぐ。
- 7 令和元年東日本台風による浸水被害が出た堰について、対策を早急に進める。
- 8 昨今の豪雨災害に鑑み、五反田川放水路事業を早期に完了させる。
- 9 洪水、土砂災害といった多摩区の災害特性に対応し、地域ニーズに合った防災出前講座、マイタイムライン作成ワークショップなどを地域の特性に合わせて細かい単位で、区主導で実施する。
- 10 区内小中学校に配備した階段昇降器具を用いた防災訓練を、自主防災組織にも呼びかけ行い、住民へも周知する。
- 11 災害時に避難所となる小中学校の非常用電源の設置箇所を点検し、浸水の危険がある学校については移設や設置場所のかさ上げなど、対策を講じる。
- 12 多摩川のしゅんせつで、国の「多摩川緊急治水プロジェクト」でまだ具体化されていない宿河原堰以南についても早急に進めるよう国に要求する。
- 13 生田浄水場を廃止し小田原市飯泉水堰からの取水に頼る体系にすると、大規模な災害時にバックアップがとれず、自己水源をもっていることが市民の飲み水の確保に絶対に必要であることが明らかになってきている。企業団の経営を改善することも含め、再構築計画を抜本的に見直して、生田浄水場を復活する。

14 農業の衰退とともに、水路の管理ができなくなっている。区内に張り巡らされている農業用水路の維持管理を、水利組合任せにせず市として行なう。市が定期的な清掃、ふた、堰の維持補修などを行なう。周辺環境の整備も併せ行なう。

(6) 川崎高速縦貫道路・堰インターチェンジ計画は撤回する。

〔七〕麻生区

■コミュニティバス

- ① 高齢化の進行とともに、山坂の多い麻生区ではコミュニティバスを配備することは切実である。岡上地域のコミュニティバスの早期配備、細山・金程・向原地域・麻生台地域へのコミュニティバスの配備とともに、区役所に対策委員会を設置し、麻生区内全域を対象にコミュニティバスを走らせる協議会を設置し、運営体制を早急に検討する。
- ② 高石地域のコミュニティバス「山ゆり号」の安定した運行のため財政的支援を強化する。

■買い物難民

- ① 高齢化に伴う買い物難民をださないために移動販売、買い物物品の宅配など麻生区に対策委員会を設置

し、補助対策を検討する。

■特別養護老人ホーム・老人いこいの家

- ① 特別養護老人ホームの待機者は3年から4年待機が当たり前という状況。麻生区には特別養護老人ホームが10か所しかなく、増設を急ぐ。

- ② いこいの家については「機能重視」の考えの前に、最低でもまだできていない2学校区（長沢、はるひ野）に早急につくる。

- ③ 西生田中学校区（細山、高石1〜3丁目地域）に老人いこいの家建設計画を進める。地理的配慮から百合丘複合福祉施設（施設内の百合丘老人いこいの家）とは独立したものとす。

■交通費補助

- ① 高齢者の交通費補助をバスだけではなく鉄道運賃にも拡大し、都や他県にも行けることも可能にする。特に岡上地域はバス路線がないため敬老バスが利用できない。

■公園遊具、ボール遊び

- ① 多摩美から細山の地域では公園に鉄棒がないところが多い。鉄棒など遊具を設置する。

- ② 高石地区（1丁目、2丁目あたり）の公園の整備を行う。長寿命化とは別に早急に行う。（ベンチも汚い。草は生えっぱなし。木を切るなどの整備がされていいため虫が多く、結局子供たちがのびのびと遊べない。）

- ③ 岡上には歩いていける範囲に、身近な公園が少ない。特に和光大学周辺、五反田橋付近に子どもが安心して遊べる公園の設置を急ぐ。

■公園にトイレ

- ① 百合丘第2公園、五力田見晴らし公園、白鳥諏訪公園、栗平東公園、葉積緑地公園にトイレの設置・促進を。特に保育園が園庭の代わりとして使っている公園はトイレの整備を急ぐ。そのために町内会・公園ボランティアの方々と話し合い促進をはかる。

■自然環境・緑地保全

- ① 麻生区の緑の保全是川崎市にとって特別の課題。開発優先ではなく緑地保全優先の行政を。緑の環境を守るために、多摩美地域ふれあいの森、市民健康の森につながるよみうりランド外周の緑、黒川地域、古沢地域、片平、柿生緑地、岡上、早野地域をはじめ保全すべき緑地をひきつづき基本的に全部保全する。

- ② 「島田成長の森」の木々が成長し、うっそうとしていいる。「防犯上も心配」という声があることから、ひきつづき整備を行う。

- ③ 年々増え続けるナラ枯れ対策を行う。

■都市農業の支援

- ① 市内農産物の価格保障を充実させる。農業の後継者育成で都市農業の将来の見える対策を講じる。
- ② 麻生区内で収穫される農産物を給食食材として活

用する。その際、規格外で出荷できなくなった野菜等も活用する。

■防災対策

① 避難場所（スペースも含めて）・備蓄品の確保など防災対策の抜本的強化をはかる。

② 改善は進んでいるものの、防災無線の放送内容が聞き取れない地域については改善する。屋外受信機の増設を急ぐ。また広報車による広報を充実させる。

■道路・交通・鉄道

① 都市計画道路世田谷町田線（津久井道）の拡幅整備については、早期の完成に向けた取り組みを促進する。

② 麻生区の道路は坂道が多く、降雪時や翌日も歩道が大変すべりやすいうえ、何日も凍った状態が続く危険である。区民からの要望が出た地域については区民の協力を得ながら融雪剤などを散布するなど具体的対策を行う。

③ 都市計画道路路町田調布線（鶴川街道）の整備（黒川～真光寺までの峠道）川崎側は非常に危険であり、歩道とガードレールを早急に設置する。

④ 岡上跨線橋に自転車が行き通れるように側道を改善する。

⑤ 鶴川駅南口アクセス道路の建設に伴い、建設中・開通後の安全対策など住民からの意見・要望については、市としても実態を把握し、町田市に強く要望

する。

⑥ 岡上地域は飛び地であるため、町田市のタクシーを利用することができない。陣痛時の場合など町田市のタクシーの利用を可能にする。

⑦ 年々交通量が増えてきている、上麻生4丁目の鶴亀松公園付近に大気汚染観測器を取り付ける。

■新百合ヶ丘駅周辺の整備

① 新百合ヶ丘駅周辺の交通渋滞解消のための対策を講じる。

② 新百合ヶ丘駅南口のバスターミナルの地下化・立体化を含め抜本的検討を行う。

③ 市道麻生2号線については、早期整備を進める。

④ 小田急線向ヶ丘遊園～新百合ヶ丘間の地下2層複々線化を急ぐ。

⑤ 新百合ヶ丘駅にホームドアを設置する。

■その他の駅周辺の整備

① 柿生駅、鶴川駅にエスカレーターを設置する。

② 柿生駅前の商店街の道幅が狭く大変危険。早急に交通安全対策を。

③ 柿生駅北口改札口の混雑の解消を行う。特にマルエツ側、線路に沿って改札口までの混雑解消を急ぐ。

④ 柿生駅南口開発については、住民説明会を行い、住民の意見をくみ入れたものとする。

⑤ 柿生1号踏切の混雑解消を急ぐ。

⑥ 鶴川3号踏切の拡幅を行う。

⑦ 読売ランド前駅は津久井道が非常に渋滞するので、踏切でなく高架にするなど改善を図る。

■バスの運行

① 虹ヶ丘↪新百合丘、聖マリアンナ医大↪新百合丘などバスの増便を図る。

■米軍ジェット機の騒音解消

① 米軍ジェット機の騒音が麻生区全域に広がっている。基地周辺の自治体に参加する自治体会議に川崎市も参加し、騒音対策を強化する。

■公共施設・スポーツ施設

① 麻生市民館の使用時間の制限が厳しい。時間の延長や終了時間の延長など利用者が使いやすいように改善する。

② 麻生図書館は勉強スペースが少なく予約制で高校生は困っている。高校生も勉強できるスペースの確保を。

③ 図書館の返却ボックスを駅前に設置する。

④ 麻生区は他の区や市に比べスポーツ施設が不足している。テニスコートの増設などスポーツ施設をふやす。

■地下鉄の延伸

① 横浜市営地下鉄3号線を延伸するにあたっては「新駅」周辺のまちづくりについては説明会を行い、市民要望を十分に反映する。